



SPA Wellness
NPO 日本スパ・ウェルネス協会

介護予防セラピスト 認定実技試験 受験要項

※本要項には、出願から資格取得までに必要な事項が記載されています。
出願前に必ず確認し、不備のないよう十分に注意してください。

特定非営利活動法人
日本スパ・ウェルネス協会

〒171-0014 東京都豊島区池袋 2-23-3 TEL 03-5960-0332

目次

I 介護予防セラピスト認定試験	2
II 出願手続	
1. 受験資格	3
2. 出願に必要な書類	3
3. 出願書類の提出先と受付期間	3
4. 受験料と振込先	4
5. 出願の流れ	4
6. 受験票の発行と通知	5
III 試験概要	
1. 試験日程	5
2. 試験会場	5
3. 試験内容	6
4. 試験の流れ	7
5. モデルについて	9
6. 受験者準備物と貸出品について	11
7. 試験前後の荷物の発送について	13
8. 受験上の注意事項	13
9. 試験後の整理整頓について	14
10. 試験当日の交通機関に関する注意事項	14
IV 可否通知の発送	15
V 受験申し込みから資格取得までの流れ	15

※本要項に記載されている「マッサージ」という用語は、エステティック施術において、美と健康を目的として行い、肌や身体に対して穏やかに働きかける行為であり、医療類似行為としての「マッサージ」とは異なるものです。

Ⅰ 介護予防セラピスト認定試験

日本では少子高齢化が急速に進行しており、それに伴い社会保障費の増加や医療・介護分野における人材不足など社会にさまざまな影響を及ぼし始めています。

社会保障制度を維持し、日本経済の衰退を防ぐためには、高齢者1人1人の健康寿命、つまり、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」を延ばすことが重要であるといえます。

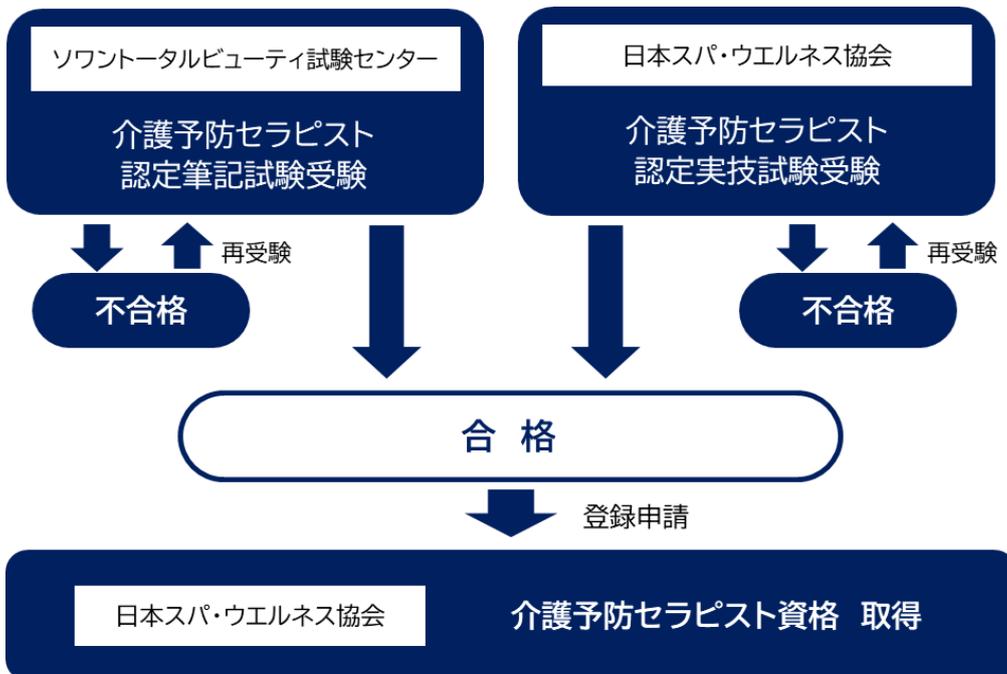
介護予防セラピストとは、「トータルエステティック※の知識と技術だけでなく、老化による身体機能の低下や精神的変化に対応するために介護予防の知識を幅広く学び、高齢者を対象としたトリートメント技術が提供できるセラピスト」です。

当協会では、ホスピタリティあふれるサービスを通じて、高齢者の生活の質（QOL：Quality of Life）を高め、介護を必要としない健康で活動的かつ自立した生活を送っていただくためのサポートができるセラピストの証明として、「介護予防セラピスト」の資格を付与しています。



※トータルエステティックとは、フェイシャルケア、ボディケア、脱毛、メイクアップ、ネイルケアといった総合的なエステティックを指す。

【受験から合格・資格申請までの流れ】



II 出願手続

1. 受験資格

当協会の正会員であり、NPO 法人日本スパ・ウエルネス協会「ビューティセラピスト」を取得した方で、介護職員初任者研修課程（旧 訪問介護員 2 級養成研修課程／ホームヘルパー 2 級）を修了した方。

2. 出願に必要な書類

- ◎ 受験願書（証明写真添付）
- ◎ 団体申込用紙（認定校より出願の場合）
- ◎ 日本スパ・ウエルネス協会「ビューティセラピスト」の取得を証明する書類の写し
- ◎ 介護職員初任者研修課程を修了または修了見込であることを証明する書類の写し

※必要書類の不備（必要事項の記入漏れ、必要書類の添付なし等）や受験料未納などの場合は、それらが解決されるまで受験することはできません。

※偽造した必要書類を提出した場合や提出した書類に虚偽の記載が含まれていた場合は、認定後であっても資格を取り消します。

※一度受理した書類は原則返却いたしません。原本の提出が必要な書類以外は必ず写しを提出してください。

3. 出願書類の提出先と受付期間

【出願書類の提出先】

特定非営利活動法人 日本スパ・ウエルネス協会 事務局

〒171-0014 東京都豊島区池袋 2-23-3

TEL：03-5960-0332 FAX：03-3988-8227 受付時間：月～金 10：00～17：00

※筆記試験の提出先とは団体名が異なりますのでご注意ください。

【出願書類の受付期間】

ホームページに記載している申込期限内（おおよそ試験日の 2 か月前から 1 か月前まで）

<https://www.spa-wellness-japan.or.jp>

※締切日を過ぎた書類は受理いたしかねますので、ご注意ください。

4. 受験料と振込先

【受験料】

11,000 円（税込）

【受験料振込先】

みずほ銀行 丸の内中央支店 普通預金口座 1995665
口座名義：とくていひえいりかつどうほうじん 特定非営利活動法人 にほん 日本スパ・ウエルネス協会 きょうかい

※筆記試験の振込先とは異なりますのでご注意ください。

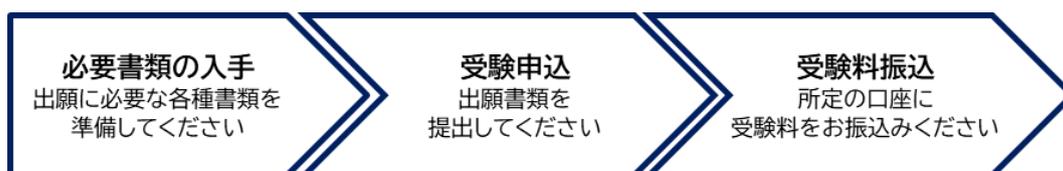
※実務経験者の方は「**受験者本人名義**」で、当協会認定校の場合は必ず「**認定校名**」でお振込みいただき、振込証明書をお受け取りください。

※振込手数料は受験者負担となります。

※振込証明書は破棄せず、合格後、資格認定登録を行うまで大切に保管してください。

※受験をキャンセルする場合は、**試験日 1 週間前まで**に事務局へご連絡ください。それ以降のキャンセルは事務局の都合でない限り、いかなる理由でも**受験料の返金**はいたしかねますのでご注意ください。なお、自己都合によるキャンセルの場合は、返金の際の振込手数料は受験者負担とさせていただきます。

5. 出願の流れ



出願に必要な書類はホームページよりダウンロードしてください。書類提出後、受験料を所定の口座にお振込みください。

6. 受験票の発行と通知

- ・ 受験票は試験の1週間前までに、受験願書に記載の住所に発送予定です。試験日3日前になっても受験票がお手元に届かない場合は、事務局までお問い合わせください。
- ・ 団体申込の場合は、ご担当者様へまとめて送付いたします。
- ・ 書類などの確認のため、当協会に登録された電話番号、メールアドレスに連絡する場合があります。
- ・ 住所、電話番号、メールアドレスなどに変更があった場合は速やかに事務局までご連絡ください。
- ・ 提出いただいた個人情報につきましては、適正かつ厳重に管理の上、介護予防セラピスト試験実施の目的以外には使用いたしません。

III 試験概要

1. 試験日程

年2回（8月・3月）

※実技試験の日程の詳細はホームページを参照してください。

※試験日程は都合により変更になる場合もあります。

2. 試験会場

【東京会場】

ミス・パリ・ビューティ専門学校

東京都豊島区池袋2-23-3 1F

- ・ 池袋駅：JR各線、東武東上線、西武池袋線、
東京メトロ：丸の内線・有楽町線
副都心線地下街（Echika）を副都心線
方面に進みC1出口より徒歩3分
- ・ 要町駅：東京メトロ：有楽町線、副都心線5番出口
より徒歩5分



【大阪会場】

ミス・パリ エステティック専門学校
大阪府大阪市北区曽根崎 2-2-18 9F

- ・JR「大阪駅」中央口より徒歩 7 分
- ・阪急「梅田駅」中央口より徒歩 7 分
- ・大阪メトロ御堂筋線「梅田駅」14 番出口より徒歩 5 分
- ・大阪メトロ谷町線「東梅田駅」6 番出口より徒歩 4 分
- ・JR「北新地駅」東改札口より徒歩 4 分



【名古屋会場】

ミス・パリ エステティック専門学校 名古屋校
愛知県名古屋市東区東桜 1-8-3 5F

- ・地下鉄東山線・名城線「栄駅」東改札口より徒歩 7 分
- ・名鉄瀬戸線「栄町駅」より徒歩 7 分
- ・地下鉄桜町線・名城線「久屋大通駅」南改札口より徒歩 7 分



※ 各会場とも定員になり次第締め切らせていただきます。

※ 受験者が試験実施可能者数に満たなかった場合、その会場での試験開催を見送ることがあります。

※ 会場の定員により受験希望地の変更をお願いする場合があります。予めご了承ください。

3. 試験内容

【試験時間】

全工程 130 分（各技術間休憩 10 分間含む）

<ボディ実技試験>

コンサルテーションシートに基づいた内容のフェイシャル及びボディ実技

- ・クレンジング／フェイシャルマッサージ（デコルテ含む）／整肌、仕上げ
- ・ボディマッサージ
- ・口頭試問

【合格基準】

200点を満点として、160点以上が合格

4. 試験の流れ

【実技試験の流れ（試験時間：130分）】

順序	所要時間	科目	試験内容	施術上の留意点
①	5分	事前準備	・準備(器具、用具、化粧品)	・器具、用具、化粧品は全て用意する。 ・化粧品はタイプの異なる化粧品を数種類準備する。
			・ワゴンのセッティング	・器具、用具、化粧品は必要なものを不足なく準備し、機能的にセッティングする。
			・ベッドメイキング	・ベッドは清潔感があり、シワのないようきれいにセッティングする。
			・衛生面	・使用する器具、用具の消毒と化粧品の衛生を心掛ける。
		受験者の身だしなみ	・髪、メイク	・髪は清潔に美しく整え、好感をもたれるナチュラルなメイクアップを施す。
			・手指、爪	・手指、爪は手入れをしておく(爪が指先から出ない)。 ・ネイルをする場合は、美しく、ナチュラルなカラーを選ぶ。
			・ユニフォーム	・汚れやシワのない清潔なユニフォームを着用する。
			・シューズ	・清潔で動きやすいシューズを着用する。
			・ストッキング	・肌色に近い色のストッキングを着用する。
			・アクセサリー	・アクセサリーや時計などは身につけない。
・全体の清潔感	・好感をもたれる身だしなみと全体の清潔感を心掛ける。			
※モデルのメイクチェックも行う。適切なメイクがなされていない場合は、減点対象となる場合もある。				
②	5分	コンサルテーション	・肌質・身体の分析力	・施術に必要な情報を引き出し、皮膚や身体の状態(肌質や皮膚トラブル、脂肪や筋肉の状態等)を的確に判断し、正しく分析する。
			・適切な技術(コース)設定	・分析内容に基づき、施術目的を明確にし、施術プラン及び使用化粧品を適切に選択する。
			・ホームケアアドバイス	・適切で具体的な内容のアドバイス(食事、運動、生活面など)をする。
			・シートの記入状況	・シートは必要事項を漏れなく、要点をまとめて記入する。
※ベッドの背もたれは立てた状態でもフラットな状態でも可。 ※コンサルテーションシートは全て事前記入。				
③	20分	フェイシャルクレンジング	・クレンジング料の肌への適合性と使用量	・肌質やメイクの状態に応じたクレンジング料を選択し、適量でクレンジングする。 ・使用する化粧品の特徴成分、効果を理解している。
			・テクニック	・肌トラブルに配慮し、肌に負担をかけず、丁寧さ、密着、リズム、強弱、連続性かつ安定感あるクレンジングを行う。
			・拭き取り	・肌に負担をかけないようタオルを適切に扱い、拭き残しがないように、素早くかつ丁寧に拭き取る。
※モデルはデイメイクをしていること。 ※スチーマーの使用は不可。 ※必要に応じてコットンクレンジング可。				

順序	所要時間	科目	試験内容	施術上の留意点
④	15分	フェイシャル トリートメント	・マッサージ料の 肌への適合性と使用量	・施術目的や肌質に適合したマッサージ料を選択し、適量を使用する。 ・使用する化粧品の特徴成分、効果を理解している。
			・姿勢	・イスの高さやベッドとの距離を適切に保ち、身体に負担のない美しい姿勢で行う。
			・テクニック	・基本6手技を用いる。 ・各手技の目的と効果を理解し、丁寧さ、密着、リズム、強弱、連続性に配慮したマッサージを行う。 ・技術にまとまりがあり、全体を通して心地良い技術を行う。
			・拭き取り	・肌を負担をかけないようにタオルを適切に扱い、拭き残しがないように、素早くかつ丁寧に拭き取る。
⑤	10分	仕上げ	・整肌	・肌質に適合した化粧水や乳液などを選択し、適切な方法で整肌を行う。
			・原状復帰	・後片付けを丁寧にいき、原状復帰する。
⑥	65分	ボディ トリートメント (手技)	・マッサージ料の 肌への適合性と使用量	・施術目的や肌質に適合したマッサージ料(オイル、クリーム、ジェルタイプなど)を選択し、適量を使用する。 化粧品はタイプの異なる化粧品を数種類準備する。
			・姿勢、体重移動	・各部位への移動はスムーズに行う。 ・施術部位や手技に応じて、姿勢や体重移動が適正である。 ・ベッドやモデルとの距離を適切に保ち、身体に負担のない美しい姿勢で行う。
			・テクニック	・基本6手技を用いる。 ・各手技の目的と効果を理解し、丁寧さ、密着、リズム、強弱、連続性に配慮したマッサージを行う。 ・技術にまとまりがあり、全体を通して心地良い技術を行う。
			・タオルドレーピング	・終始、施術部位以外の露出が少なくなるよう、適切にタオル等を使用する。 ・施術中のモデルの体感温度に配慮する。
			・拭き取り	・タオルを適切に扱い、拭き残しがないように、素早くかつ丁寧に拭き取る。
<ul style="list-style-type: none"> ・機器の使用は不可。 ・施術部位は胸とヒップを除く全身。 ・背面から前面に移るときの拭き取り可。 ・時間に余裕があればマッサージ中の拭き取り可。ただし、施術終了が早すぎる場合は減点対象。 ・シャワーの使用は不可 				
⑦	10分	アフター カウンセリング 原状復帰	・アフターカウンセリング	・トリートメントの効果を確認し、ホームケアアドバイス等を行う。
			・原状復帰	・後片付けを丁寧にいき、原状復帰する。
<ul style="list-style-type: none"> ・シャワーの使用は不可。 				
—	全体を通して	・姿勢		・正しい姿勢、歩き方、座り方を意識する。
		・接客マナー		・終始、好感もてる表情、言葉遣い、立ち居振る舞いで臨む。
		・衛生管理		・施術前や施術中の衛生管理を常に心掛ける。
		・モデルへの配慮、気配り		・礼儀正しく心のこもった接遇で、モデルと適切なコミュニケーションを図る。
		・安心感		・謙虚で真剣な態度で臨み、安心感や信頼感に繋げる。
	口頭試問	・全体を通しての理解度		・エイジングに関する知識、年齢による身体変化、モデルの皮膚や身体の状態についての知識、ボディトラブルの原因とメカニズム、選択した技術の目的と効果、禁忌事項や注意事項、基本手技の目的と効果、使用化粧品の特徴成分、ホームケアアドバイスなどについて適切に回答する。
		・受け答えのマナー		・口頭試問にはマナー良く回答する。

5. モデルについて

受験当日にはモデルを同伴してください（事務局ではモデルの手配は行っておりませんので、ご注意ください）。認定校での受験の場合は、受験者同士の相モデルでも構いません。

受験日当日は、異性の受験者及びモデルと同室となる場合がありますので、事前にモデルに了承を得た上で同伴してください。

【モデルの条件】

- 18歳以上であること。
- 全ての施術に対応できるモデルであること。
- 男性モデルは髭を生やしていないこと。

【モデルになれない方】

以下の項目に該当する場合は、受験不可となる場合があります。

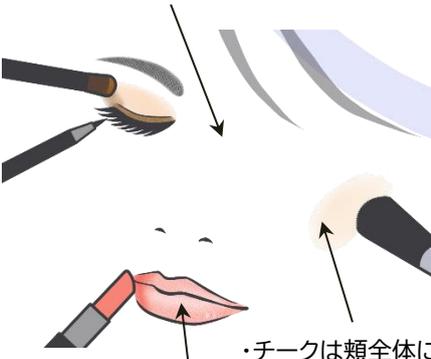
- エステティック禁忌事項に該当する方
- アートメイクやまつげエクステンションをしている方
 - ※メイクが落ちているか否かの判断がしにくい場合、クレンジングの採点が0点になります。
- 極度の敏感肌やアトピー性皮膚炎など、試験の進行に支障をきたす恐れのある方
 - ※普段の練習モデルの方でも、肌状態によっては試験官の判断により受験をお断りする場合があります。
- 治療中の疾患がある方、または半年以内に手術（美容整形を含む）を受けた方
- 持病があり、根治していない方
- 心臓ペースメーカーなどの医療電子機器を装着している方
- 体内にボルトなどの金属製の固定具が埋め込まれている方
- 感染する恐れのある疾病や皮膚疾患のある方
- タトゥーを入れている方
- 妊娠中・出産直後の方
- 発熱やリンパの腫れが見られる方や1週間以内に37.5℃以上の発熱があった方
- 全身倦怠感、過度の疲労感や睡眠不足など体調不良の方
- 2週間以内に強い日焼けをした方
- アレルギー反応が出ている方
- 試験日の1週間以内にワクチンを接種した方

同伴モデルへの配慮を心掛け、モデルが試験中に体調不良等により途中退室を希望した場合は必ず試験官に申し出てください。

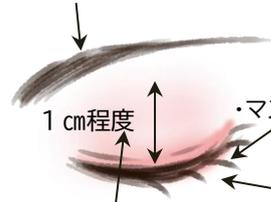
【モデルのメイク】

実技試験ではクレンジングを行うため、モデルの方には事前にフルメイクをしていただきます。
『モデル用受験要項』を参考に、できるだけはっきりとしたメイクをしてもらってください。

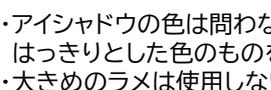
- ・ファンデーションはパウダータイプでもリキッドタイプでも可
- ・生え際、顎裏含めて顔全体に塗る



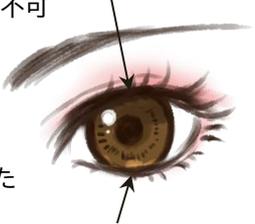
- ・アイブロウはパウダーまたはペンシルを使用
- ・眉マスカラは不可



- ・アイシャドウの色は問わないが、はっきりとした色のものを使用
- ・大きめのラメは使用しない



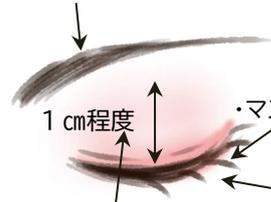
- ・アイラインは、ペンシルまたはリキッドを使用し、目頭から目尻まで太めのラインを入れる
- ・インラインは不可



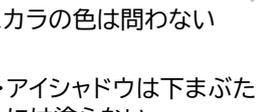
- ・チークは頬全体に塗る。



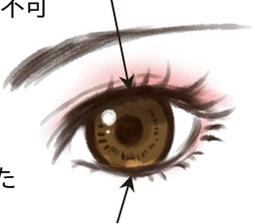
- ・アイシャドウの色は問わないが、はっきりとした色のものを使用
- ・大きめのラメは使用しない



- ・マスカラの色は問わない
- ・アイシャドウは下まぶたには塗らない



- ・下まぶたにアイラインは入れない



- ・はっきりとした色の口紅を口角から口角まで、上下とも塗る
- ・ティントやグロスなど落としにくいものは不可



※ウォータープルーフタイプの化粧品は使用しないでください。
※アクセサリ、コンタクトレンズは事前に外してください。

ベースメイク	ファンデーション	パウダータイプ、リキッドタイプは問わない。 生え際、顎裏を含めて顔全体に塗る。	
ポイントメイク	アイブロウ	パウダー、またはペンシルを使用。 眉マスカラは不可。 *アートメイクを入れている方はモデルになれない。	
		アイシャドウ	塗る。色は問わない。大きめのラメは使用しない。 下まぶたには塗らない。
	アイライン	ペンシル、またはリキッドを使用。 パウダーでぼかしているようなものは不可。 上まぶたは目頭から目尻(端から端)まで描く。 下まぶたにはラインをいれない。 インラインは不可。 *アートメイクを入れている方はモデルになれない。	
		マスカラ	塗る。色は問わないがウォータープルーフは不可。 *まつげのエクステンション・付けまつげ禁止。
		リップ	見た目で見える色の口紅を使用する。落ちにくいものは不可。 口角から口角まで上下ともに塗る。 ティントやグロスは不可。
		チーク	頬全体に塗る。色は問わない。
	その他	※ウォータープルーフタイプのメイクアップ化粧品は使用不可。 ※カラーコンタクト・コンタクトの装着不可。試験時は外す。	

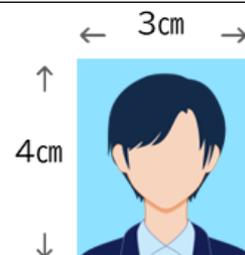
6. 受験者準備物と貸出品について

【受付時に必要なもの】

- ・ 写真*が貼付された受験票（写真の貼付がない場合は受験することができません）

※写真について

- ・ 証明書用写真（タテ 40mm × ヨコ 30mm）
- ・ 過去 3 か月前以内に撮影されたもの
- ・ 上半身正面向・無帽・無背景のもの
- ・ 眼鏡使用の場合は無色透明のレンズに限る
- ・ スナップ写真、不鮮明な写真、特殊加工を加えたものは不可



- ・ 記名、捺印したモデルの承諾書

【実技試験時に必要なもの】

① 化粧品類

- 当日のモデルの肌質を想定した化粧品、トリートメント用材
※化粧品を別容器に移し替える場合は、容器に成分表を貼付してください。
※オールスキンタイプ、ボディ、フェイシャル兼用のものは使用不可です。

② リネン類

- ベッドメイキング用タオル（バスタオルまたはタオルケット等）：シーツ用と上掛け用
- フェイシャル用：必要枚数
- ボディ用：必要枚数
- 施術用等：必要枚数
※リネン類は無地で白または淡い色の清潔なものをご使用ください。
※不足しても事務局では貸し出しを行いません。

③ 消毒剤類

- エタノール、塩化ベンザルコニウム等、消毒対象物に適したもの

④ 消耗品類

- コットン、綿棒等必要に応じて

⑤ 備品類

- 消耗品（コットン・綿棒等）を入れる蓋付容器を入れる容器
- セッシ
- セッシ立て

- スパチュラ
- スポンジ
- ボウル 等

※容器等はサロンで使用することを前提としたものを用意してください。

※その他各自必要と思われるものをご用意ください。

⑥ その他

<モデル用>

- ガウン
- セパレートタイプの水着（ペーパーブラジャー、ペーパーショーツでも可）
- スリッパ

<受験者用>

- ユニフォーム（制服）、シューズ、マスク
- バインダー、シート記入用の筆記用具（多色ペン等）
- 記入済みのコンサルテーションシート
- 時計またはタイマー（会場には時計を用意しております）
※スマートウォッチ不可、携帯電話等の会場内への持込は禁止とします。
- 梱包用具一式（会場から荷物を返送する方）：ガムテープ、はさみ

【会場準備物】

- ベッド（1台）
- スツール（1台）
- ワゴン（1台）
- ゴミ箱
- 給湯設備及び水道設備（洗い場）
- タオル蒸し器
- 純水器
- 会場用時計
- 荷物用のかご（ベッド下に準備物を置いておく）

※事務局では会場準備物以外の貸し出しは一切いたしません。

※忘れ物があると受験できなくなる場合がありますので、ご注意ください。

7. 試験前後の荷物の発送について

<試験前の荷物の発送について>

- ◎ 荷物の発送は、段ボールではなくスーツケースや衣装ケースをお勧めします。
- ◎ 事前に試験会場に荷物を発送する場合は、「元払い伝票」にてお送りください。
- ◎ 試験会場のご迷惑とならないよう、**事前にお伝えする着日・時間を指定して発送**してください。
- ◎ 各会場は校舎が複数ある場合がございますので、必ず指定住所に発送してください。
- ◎ 未着の荷物、または指定日・指定時間以外に届いた荷物に関しては、会場及び事務局は一切責任を負いません。各自で宅配業者に確認を取るようお願いいたします。荷物の問い合わせ番号は必ずお控えください。
- ◎ 指定日に荷物の発送ができない場合は、当日ご自身でお持ちください。
- ◎ 他の荷物に紛れてしまうと受験ができなくなります。伝票の「品名欄」を必ずご記入ください。
例) 「介護予防セラピスト実技試験用化粧品、備品等」
「割れ物注意」、「ご自身の実技試験日」

荷物の発送に関してご不明な点がある場合は、協会事務局までお問い合わせください。

荷物の到着日・時間は必ず厳守いただきますよう、お願いいたします。

(発送先・指定着日・指定時間は別途お知らせいたします)

<試験後の荷物の発送について>

- ◎ 試験会場から荷物を返送する際には、会場指定業者の「着払い伝票」に届け先・依頼主共に、ご自身のサロンや会社、お名前を記入してください。何らかのトラブルで荷物が会場に戻ってしまった場合は会場からの再送・転送はしませんので、各自で会場まで引き取りに行ってください。
- ◎ 会場が指定する宅配業者以外での発送はできません。
- ◎ 荷物は丁寧に梱包し、液体等が漏れないようにしてください。段ボールに水分がしみ出すなどの場合は返送できない可能性があります。その際は会場まで引き取りに行ってください。
- ◎ 荷物のトラブルに関する問い合わせは、ご自身で配送業者と連絡を取ってください。
- ◎ 万一トラブルが起きた際に必要となりますので、荷物の問い合わせ番号は必ずお控えください。
- ◎ 試験翌日の着払い指定はできません。

8. 受験上の注意事項

- ① 受験票を忘れた場合や受験票に写真の貼付がない場合は受験することができません。
- ② 試験開始 30 分前から受付を開始します。

- ③ 試験官は受験者の技術だけではなく、プロフェッショナルとしてのマナーも見ています。試験中は厳粛な気持ちで臨みましょう。
- ④ 試験中は試験官の指示に従って試験を進行してください。
- ⑤ 試験中、受験者とモデルとの間でアドバイス等とみられる会話やその他不正行為が確認された場合は不合格となりますのでご注意ください。
- ⑥ 試験中の途中退室は受験拒否とみなし、再入室できません。
- ⑦ 会場貸出の備品等は破損しないように丁寧に扱ってください。
- ⑧ 日本スパ・ウエルネス協会公式テキストの内容を前提に口頭試問や採点を行いますので、協会公式テキストで学習することをお勧めいたします。また、協会認定校では実技試験対策講座を行っています。希望の際は事務局までお問い合わせください。
- ⑨ 試験中に不測の事態（地震や火災など）が発生した場合は、試験監督者の指示に従ってください。
- ⑩ 試験終了後は会場外での不要な私語はご遠慮いただき、速やかにお帰りください。
- ⑪ 試験会場以外への立ち入りはご遠慮ください。
- ⑫ 試験会場での飲食等については、各会場のルールに従ってください。
- ⑬ 試験当日、学校保健安全法で出席停止が定められている感染症に罹患し治癒していない場合は受験することができません。その場合は、再受験等の措置を行いますので事務局にご連絡ください。



公式テキスト（10冊セット）

9. 試験後の整理整頓について

- ① 使用したベッド、スツール、ワゴン等は汚れを拭き、試験開始時と同じ状態にしてから退場してください。使用後の備品類は適宜消毒等を行い、必ず指定の場所に返却してください。
- ② 試験会場の整理整頓を心掛け、清潔にしてください。ゴミは全て持ち帰ってください。
- ③ 忘れ物にご注意ください。万一忘れ物があっても、会場・事務局での保管はいたしかねます。
- ④ 会場の物を誤って持ち帰ることのないようにご注意ください。

10. 試験当日の交通機関に関する注意事項

- ① 各会場には受験生・モデル用の駐車場及び駐輪場はありません。会場までは公共交通機関を利用してください。また、試験会場周辺の交通の妨げとなりますので自動車での送迎もご遠慮ください。
- ② 交通機関の混乱に備え、余裕をもって来場してください。

- ③ 交通機関の乱れなどで受験時間に間に合わないと判断した場合は、速やかに当協会まで連絡の上、指示を仰いでください。
- ④ 道に迷ったなどが原因の遅刻は認められません。前日までに会場への経路を事前に調べて確認しておいてください。ただし、会場内の下見はできません。
- ⑤ 主要交通機関の乱れなどにより、多数の受験者が試験開始時刻に間に合わないと判断した場合は、試験開始時間を遅らせることがあります。

IV 合否通知の発送

合否通知は、試験日より **2週間程度** で郵送にて通知いたします。電話やメールでの回答はいたしかねますので、ご了承ください。

※実技試験、筆記試験ともに合格有効期限は **3年間** です。期限内に両試験に合格し、登録申請を行うと資格を取得することができます。

※引越等住所、電話番号などに変更があった場合は、必ず事務局までご連絡ください。

※団体での受験の場合は、ご担当者様へまとめて送付いたします。

V 受験申し込みから資格取得までの流れ

- ① 筆記試験及び実技試験の受験申込 出願に必要な書類を準備し、申し込む
- ② 筆記試験及び実技試験の受験料振込 所定の受験料を振り込む
- ③ 受験票の送付 筆記試験及び実技試験の受験票が発行される
- ④ 筆記試験及び実技試験の受験 受験票に記載された日時、会場にて受験をする
- ⑤ 試験結果の通知 筆記試験及び実技試験の結果通知書が届く
両試験の合格者にはディプロマが発行される

※NPO 法人日本スパ・ウェルネス協会の正会員でない場合は、試験に合格しても資格を取得することができませんので、ご注意ください。

※筆記試験及び実技試験はどちらから受験しても構いません。ただし、先に受験した試験の合格の有効期限は3年間です。筆記試験及び実技試験の両試験を合格して資格取得となりますので、ご注意ください。